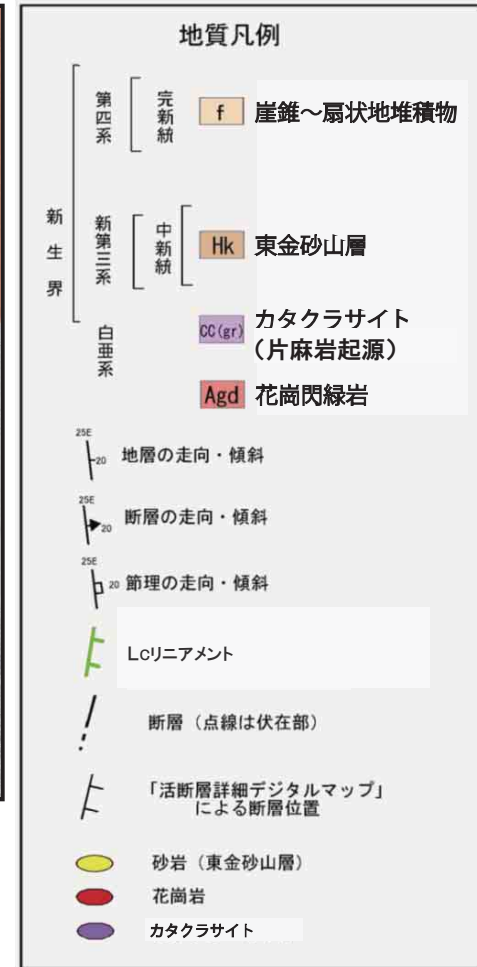
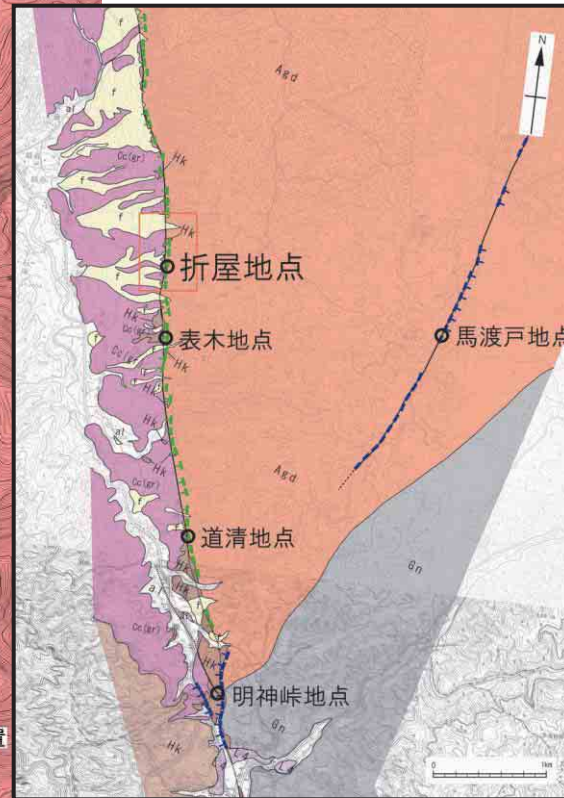
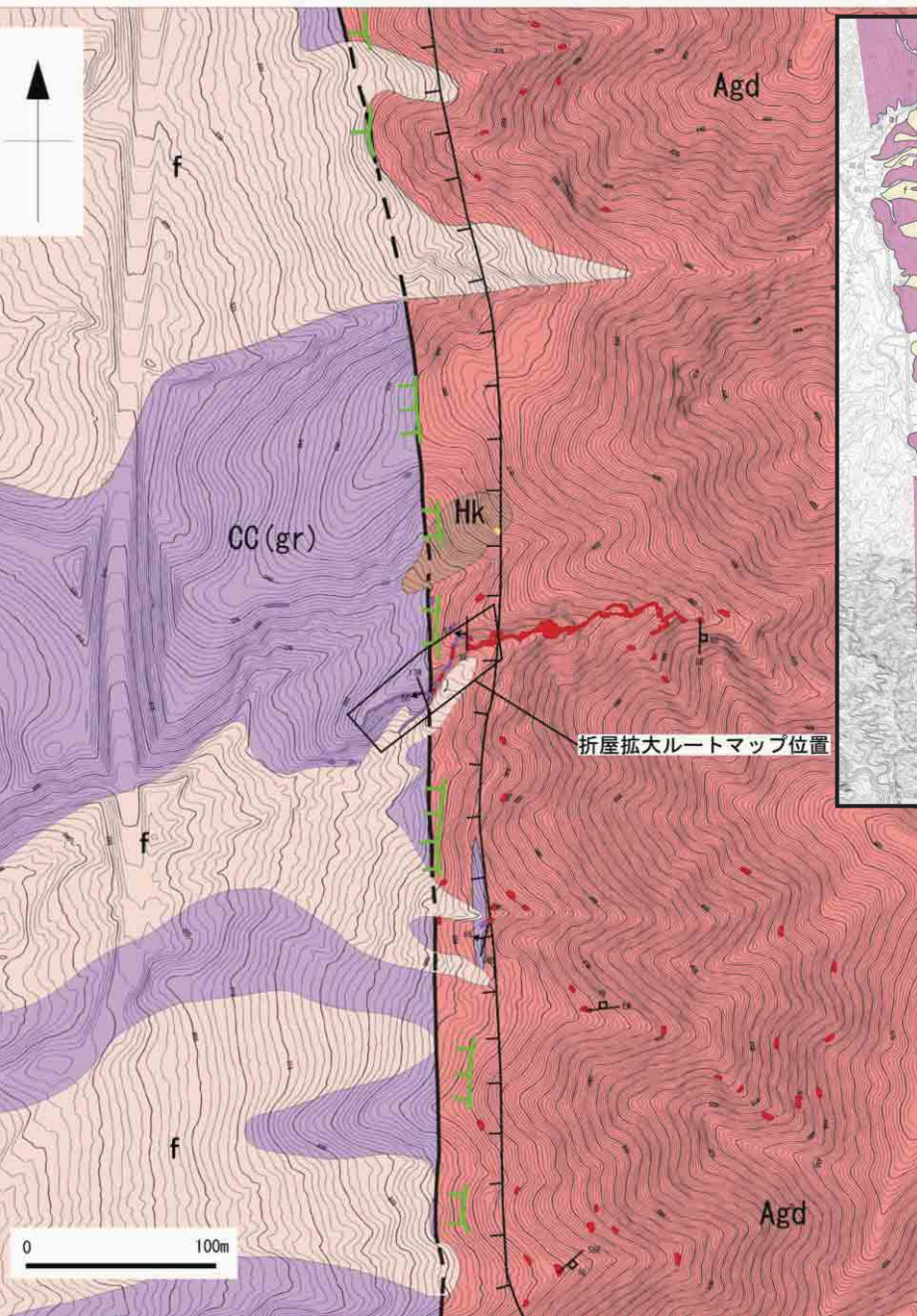


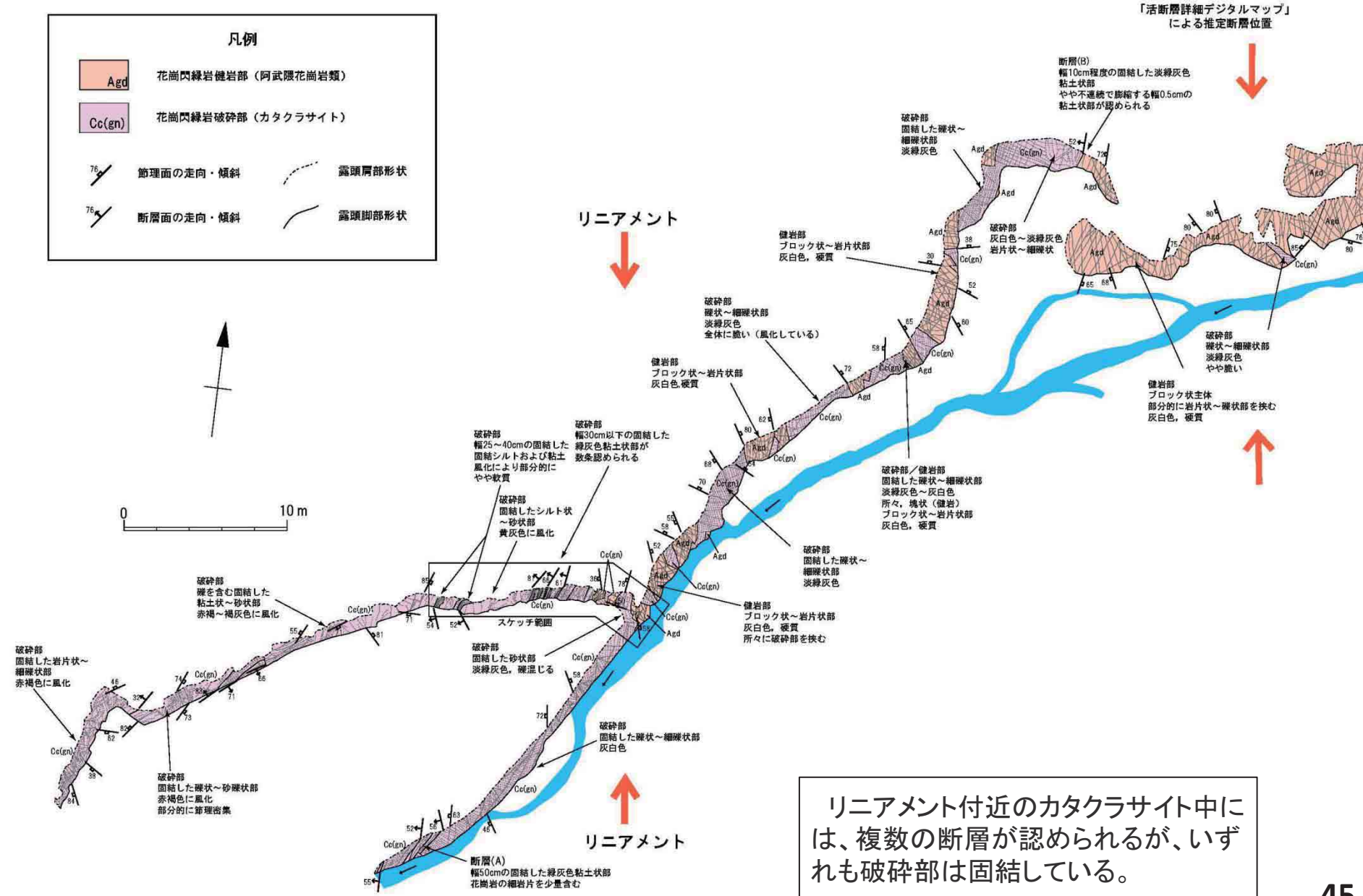
# 折屋地点周辺の地質



# 折屋地点のルートマップ

**凡例**

	花崗閃緑岩健岩部 (阿武隈花崗岩類)		
	花崗閃緑岩破砕部 (カタクラサイト)		
	節理面の走向・傾斜		露頭肩部形状
	断層面の走向・傾斜		露頭脚部形状



リニアメント付近のカタクラサイト中には、複数の断層が認められるが、いずれも破砕部は固結している。



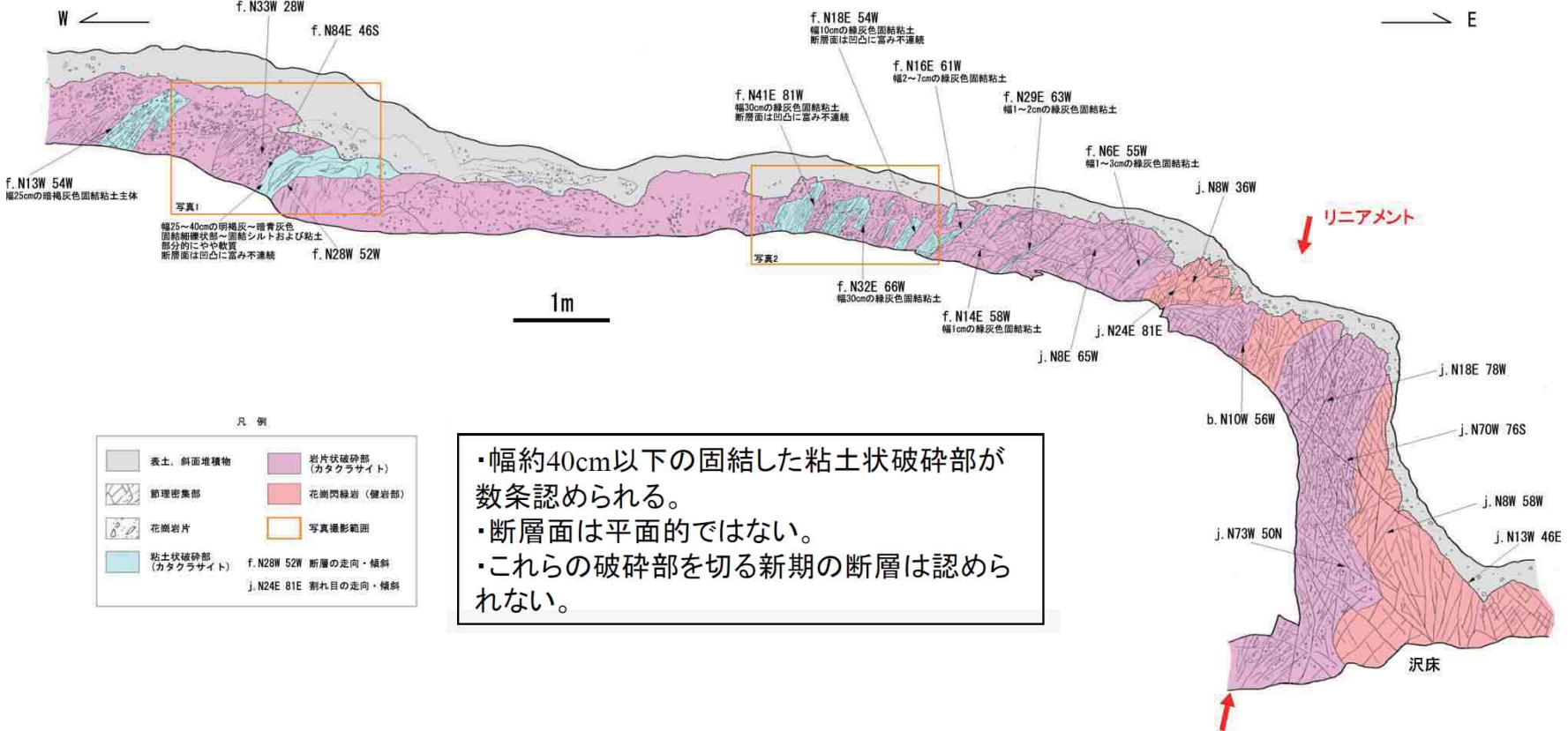
# 折屋地点の露頭



写真1



写真2

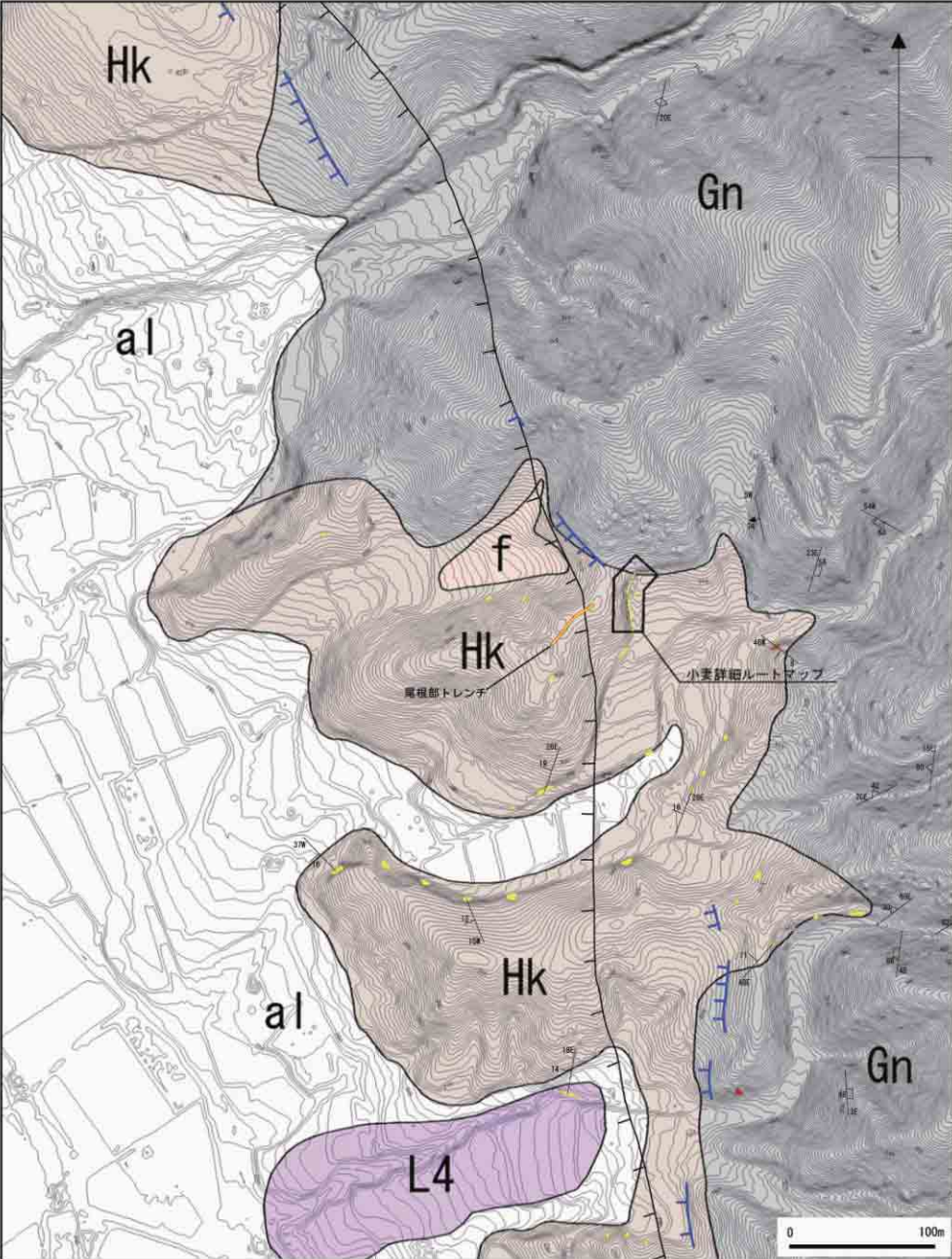


凡例

	表土、斜面堆積物		岩片状破碎部 (カタクラサイト)
	節理密集部		花崗閃緑岩 (健岩部)
	花崗岩片		写真撮影範囲
	粘土状破碎部 (カタクラサイト)	f. N28W 52W	断層の走向・傾斜
		j. N24E 81E	割れ目の走向・傾斜

・幅約40cm以下の固結した粘土状破碎部が数条認められる。  
 ・断層面は平面的ではない。  
 ・これらの破碎部を切る新期の断層は認められない。

# 小妻地点周辺の地質



### 地質凡例

新生界	第四統	al	沖積層
		f	扇状地堆積物
	更新統	L4	L4段丘堆積物
新第三系	中新統	Hk	東金山層
先白亜系		Gn	竹貫変成岩類 (片麻岩類)

走向・傾斜

10	74	63	80
層理面	断層	節理	片理

地層境界

●	砂岩 (東金山層)	●	礫岩 (東金山層)
●	凝灰岩 (東金山層)	●	花崗岩類
●	片麻岩類		

L4リニアメント  
 「活断層詳細デジタルマップ」による断層位置

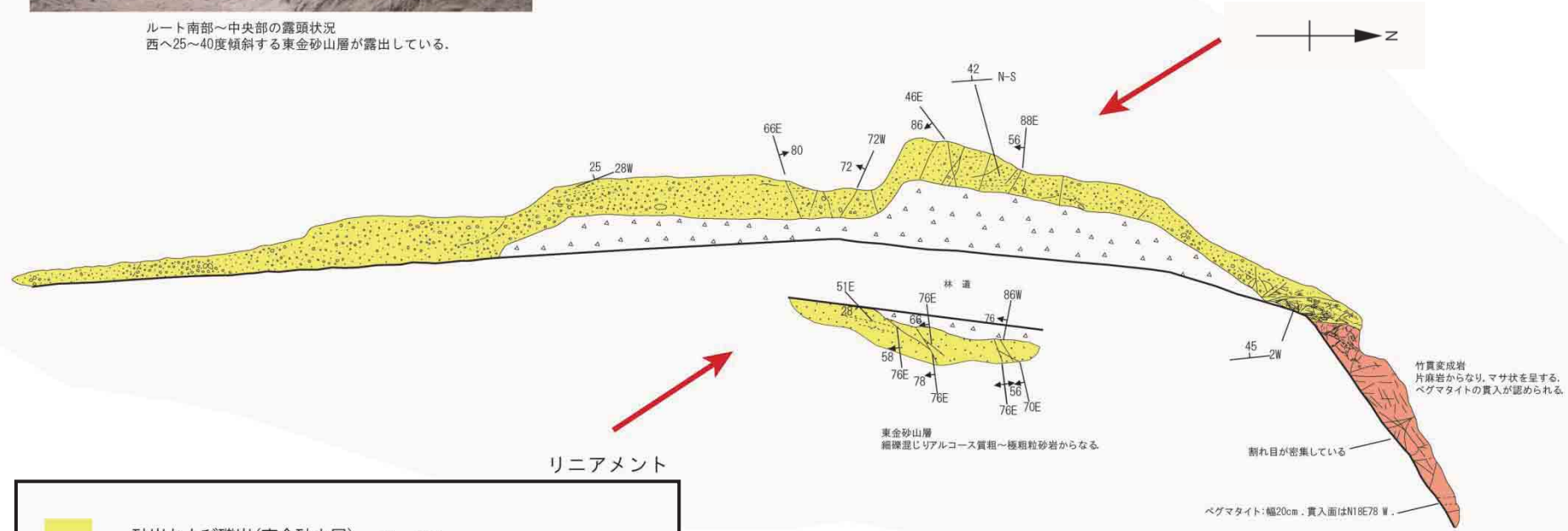


# 小妻地点のルートマップ



ルート南部～中央部の露頭状況  
西へ25～40度傾斜する東金砂山層が露出している。

・リニアメントの南西側には東金砂山層が、北東側には竹貫変成岩類(片麻岩)が分布する。  
・東金砂山層は、全体的には南側へ25°程度で傾斜しており、竹貫変成岩類を不整合に覆う。



	砂岩および礫岩(東金砂山層)		層理の走向傾斜
	片麻岩(竹貫変成岩)		
	崩積土		癒着した断層の走向傾斜

# 小妻地点のトレンチ(尾根部)



トレンチ南西端からの全景



トレンチ北東端からの全景

「活断層詳細デジタルマップ」  
による推定活断層位置

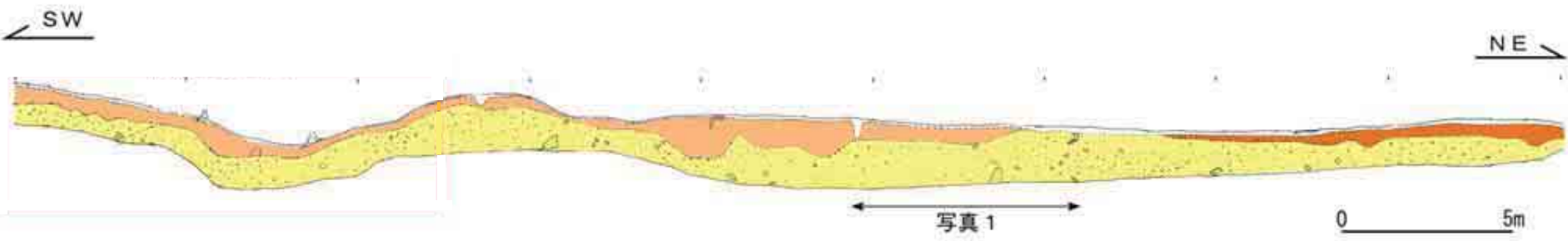




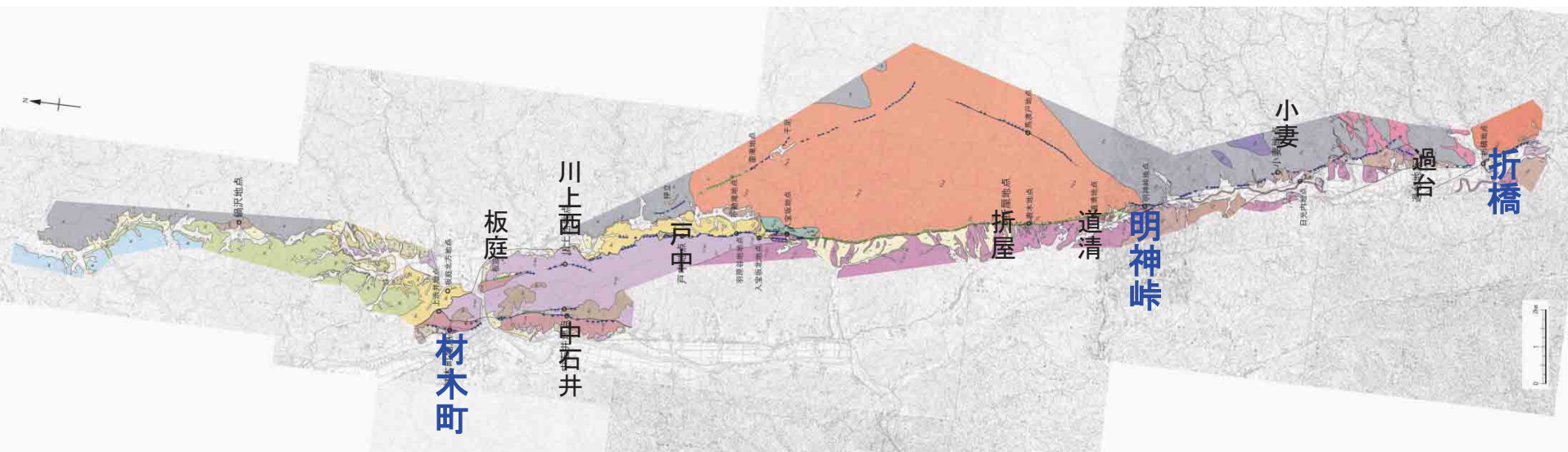


写真1

凡 例	
	表土
	崖錐堆積物
	礫質砂岩の強風化部 (東金砂山層)
	礫岩(東金砂山層)

- ・東金砂山層の礫岩が西側に緩く傾斜して分布している。
- ・礫岩には、破碎部や急傾斜構造は認められない。

# 棚倉破碎帯東縁付近の推定活断層の評価



(材木町～明神峠)

リニアメント付近に確認された断層は、いずれも平面性に乏しく破碎部は固結していることから、少なくとも後期更新世以降の活動はないと判断される。

(明神峠～折橋)

リニアメント付近に分布する中新統には断層は認められない。

棚倉破碎帯東縁断層については、耐震設計上考慮する断層ではないと判断される。

---

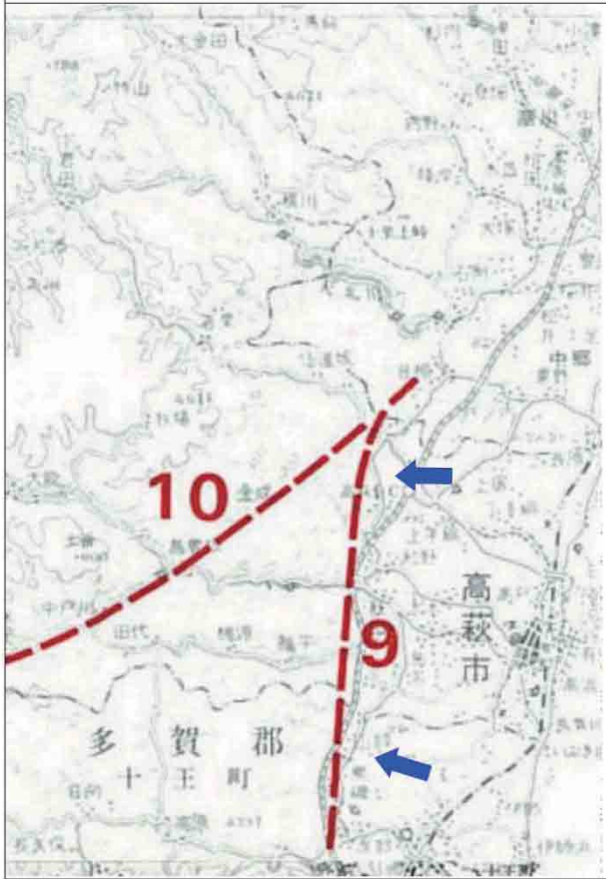
## 2. 2敷地周辺陸域の地質・地質構造

### (3) 関口ー黒磯リニアメント



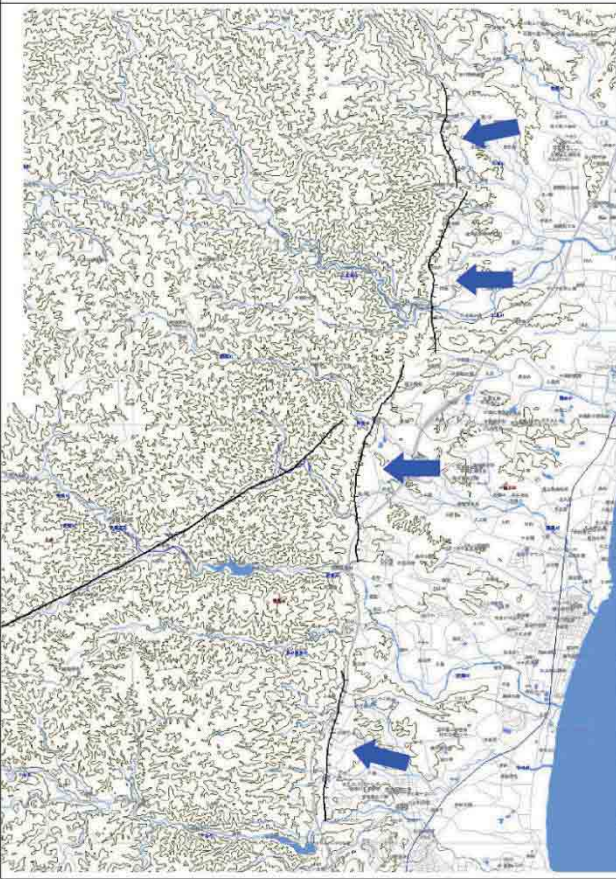
# 文献調査結果

活断層研究会編「新編 日本の活断層(1991)」



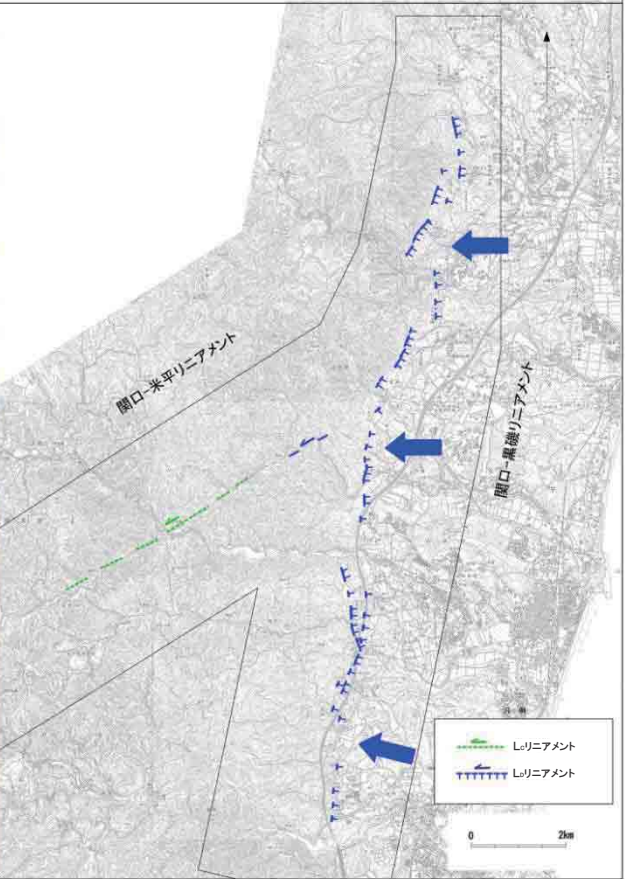
断層名	長さ	确实度	変位の向き
9.関口-黒磯	10km	Ⅲ	西側隆起

中田・今泉編「活断層詳細デジタルマップ(2002)」



断層名	長さ	区分	変位の向き
—	約16km	推定活断層	西側隆起

報告書



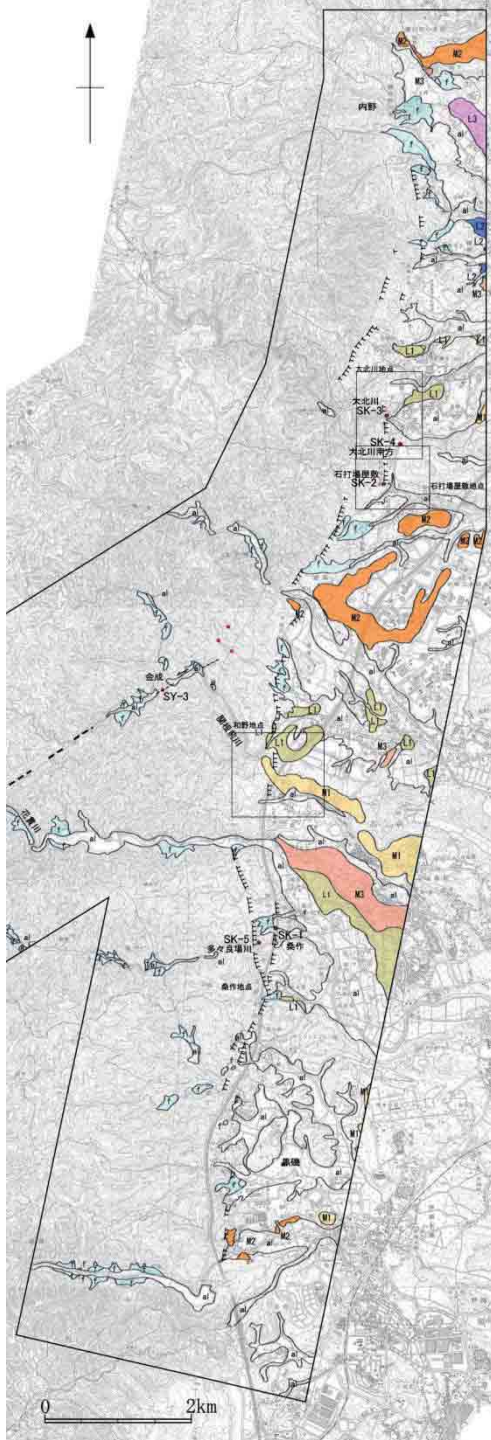
断層名	長さ	ランク	高度差
北茨城市磯原町 内野付近から 日立市黒磯	約15km	Lリニアメント	東側が低い

确实度Ⅰ：活断層であることが確実なもの  
 确实度Ⅱ：活断層であると推定されるもの  
 确实度Ⅲ：活断層の疑いがあるリニアメント

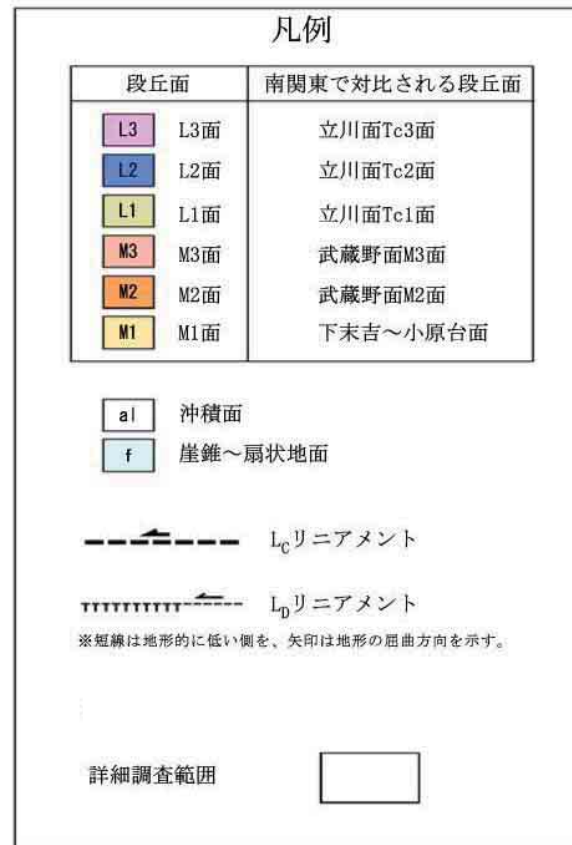
活断層：過去に繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層

推定活断層：地形的な特徴により活断層の存在が推定されるが、現時点では明確には特定できないもの

# 変動地形調査結果（1）



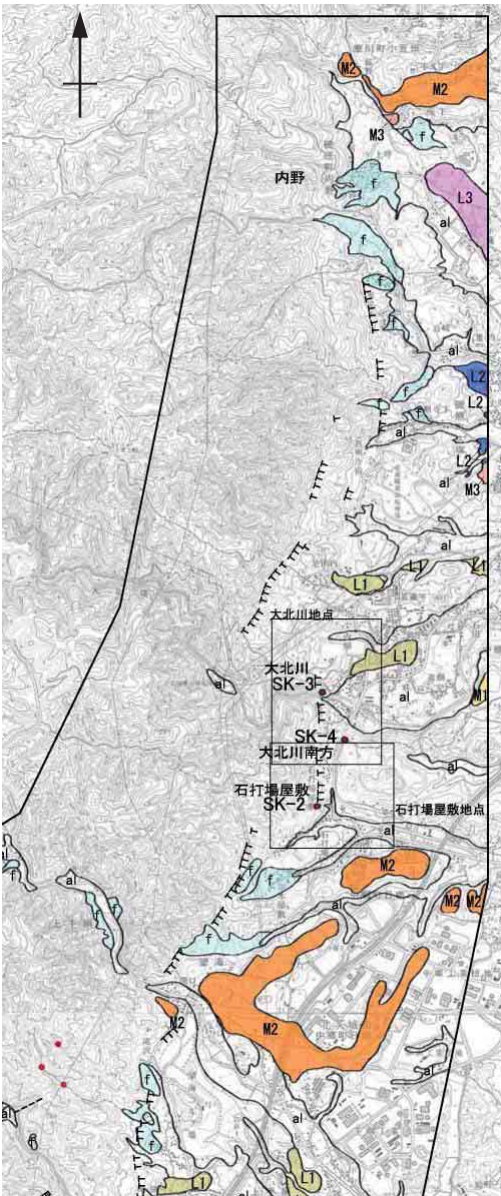
- ・長さ約15km
- ・阿武隈山地の東縁と丘陵の境界部付近に不鮮明な三角状の急斜面等が断続的に配列(L<sub>D</sub>ランク)



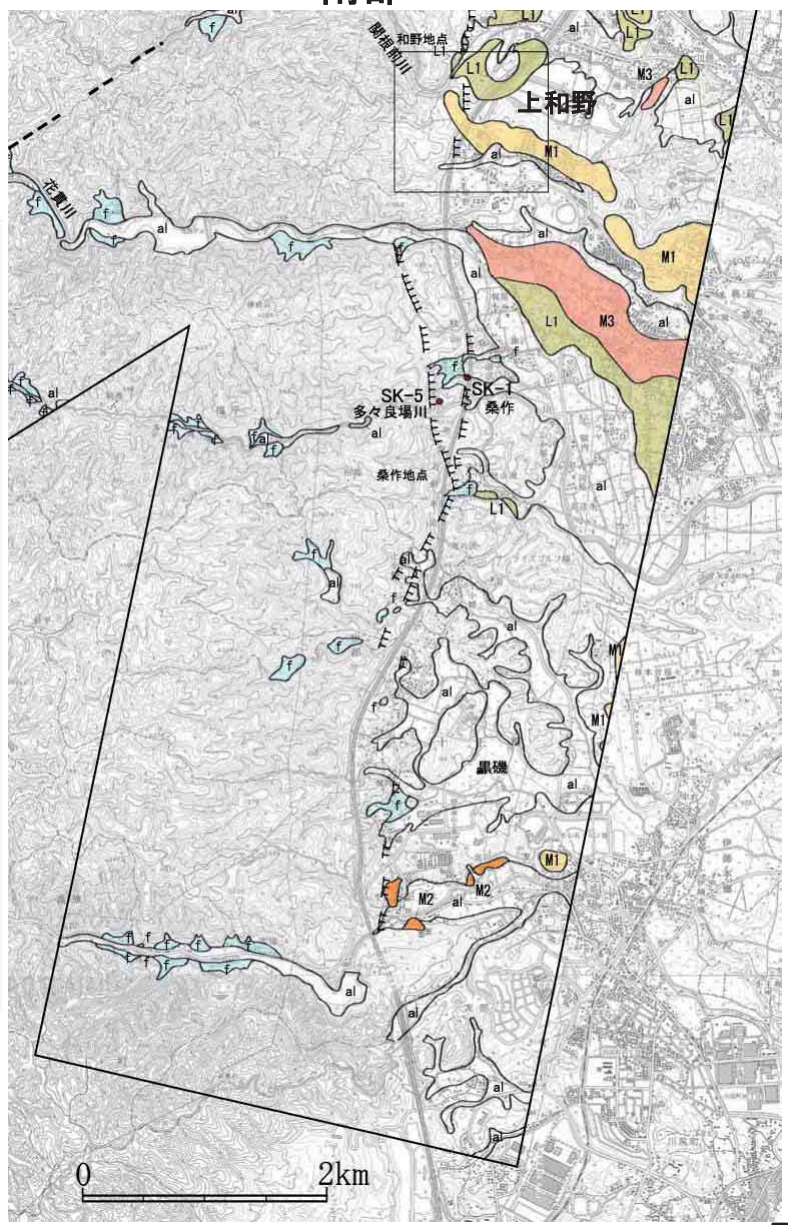


# 変動地形調査結果 (2)

北部



南部



凡例

段丘面	南関東で対比される段丘面
L3 L3面	立川面Tc3面
L2 L2面	立川面Tc2面
L1 L1面	立川面Tc1面
M3 M3面	武蔵野面M3面
M2 M2面	武蔵野面M2面
M1 M1面	下末吉～小原台面

al	沖積面
f	崖錐～扇状地面

-----▲-----	L <sub>c</sub> リニアメント
-----▲-----	L <sub>D</sub> リニアメント

※短線は地形的に低い側を、矢印は地形の屈曲方向を示す。

露頭位置・番号	● SY-2
詳細調査範囲	□